

平成30年度第1回岡山大学 Alumni（全学同窓会）理事会議事要旨

日 時 平成30年6月19日（火） 14：12～15：40

場 所 岡山大学本部棟6階 第一会議室

■ 黙祷

故 金光富男 様（アラムナイ顧問）のご冥福を祈り、理事会で黙祷を捧げた。

■ 開会

小長会長から開会の挨拶があり、円滑な審議が行えるよう協力願いたい旨の発言があった。

■ 出席者の確認

小長会長から、出席者の確認があった。

欠席者：赤木理事、有岡理事、貞本理事（代理出席：山本祐司氏）、岡田理事、板東
監事

■ 議題

1 審議事項

（1）役員等の交代について

小長会長から、資料1に基づき、平成30年4月1日付けで3名の理事が交代等となっている旨の説明があり、審議の結果、承認された。その後3名の理事から自己紹介があった。

次いで榎野学長から来年度からの Alumni 会長職について、小長会長に引き続きお願いしたい旨の依頼を行い、受諾いただいている旨の報告があった。小長会長から、正式には秋の Alumni 総会において決まることとなるが、受諾する意思であることの発言があった。

（2）平成29年度事業報告および平成29年度会計報告並びに監査報告について

小長会長の指名により、事務局から資料2に基づき、平成29年度に実施の各種事業等についての説明および資料3に基づき、平成29年度の収支決算状況についての詳細な説明と、監事による監査報告書の説明があり、審議の結果、承認された。

（3）平成30年度事業計画および平成30年度収支予算について

小長会長の指名により、事務局から資料4に基づき、平成30年度事業計画（案）の説明（資料6から資料11までは各種事業内容）、資料5に基づき平成30年度収支

予算（案）の説明があり、審議の結果、承認された。

（４）大学院博士後期課程入学支援事業について

小長会長の指名により、高橋事務局長から、本事業を立案するに至った経緯の説明があった後、事務局から資料 12 に基づき、実施要項（案）の説明があり、審議の結果、承認された。

2 報告事項

（１）会費納入状況について

小長会長から、今年度も Alumni と学部等同窓会とで一括して学部新生の会費を徴収したことについて、各学部等同窓会関係者の協力に対し謝辞があった後、高橋事務局長から、会費納入に関しての取組状況について説明があった。続いて事務局から、資料 13 に基づき、昨年度と比較し若干納入率が上がっている等詳細な説明と、会費未納者については今後も引き続き依頼していく旨の説明があった。

（２）岡山大学 Alumni（全学同窓会）東海支部設立について

小長会長の指名により、事務局から資料 14 および資料 15 に基づき、岡山大学 Alumni（全学同窓会）東海支部の会則（案）、9月30日に開催する設立総会の次第（案）について説明があり、副会長および各学部等理事の方には、設立総会への案内をすることの報告があった。

（３）岡山大学 Alumni（全学同窓会）大阪支部設立に向けての状況について

小長会長の指名により、事務局から、本年4月に大阪地区在住の各学部同窓生に集合願い、打合せ会を開催したこと、6月末には設立準備会として開催する予定であることの状況報告があった。

3 その他

（１）岡山大学学都基金について

小長会長の指名により、高橋事務局長から資料 16 に基づき、平成 29 年度における岡山大学学都基金の収支および事業内容について報告があった。

（２）次回理事会、ホームカミングデイ、総会の開催について

小長会長から、次回理事会（10/19）、ホームカミングデイ（10/20）、総会（10/20）

の開催予定日等の連絡があった。

(3) 国際同窓会について

張理事から、配布資料に基づき、国際同窓会の活動状況について報告があった。

(4) ホームカミングデイ行事内容の早期連絡について

陶浪副会長から、ホームカミングデイの日に合わせて同窓会を実施したいが、ホームカミングデイの行事内容や実施時間が判らず困っている。各学部の行事、懇親会を含めて、時系列にして早期に連絡してほしい旨の要望があった。

高橋事務局長から、各学部等にも問い合わせ、早々にお知らせする旨の発言があった。

(5) 理学部同窓会について

川本理事から、理学部同窓会に関して次の報告があった。

- ・理学部は、平成 23 年に全学科を対象とした同窓会を結成した。
- ・理学部支部の設立について、小長会長、竹原理事にお世話になり、今年の春に理学部東京支部が出来た。
- ・Alumni 東海支部の設立に関し、尾原代表幹事は理学部数学科の卒業生である。

(6) その他

笹川理事から次の発言があった。

- ・アラムナイで、入学時に集める金額が判っていない。次回参考に教えていただきたい。
- ・アラムナイは 1 回限りの会費徴収で、2 回振り込んだ人には返す事になっているが、なぜ 1 回限りなのか。2 回払っても、払う意思があるならいいのではないか。要するにどうやったらお金を集められるのかだと思ふ。
- ・少子高齢化、格差拡大で、卒業生でも非常に苦しい生活をしている方もいれば、比較的年金生活で裕福な方もいる。年金生活で余裕のある方は、アラムナイへ寄付しようか、学都基金へ寄付しようか悩むのではないか。
- ・学都基金も名目が幾つかある。もっと分かり易い説明の仕方を、ホームページも含めて検討してほしい。振込用紙もあるが、ネット上から振込が出来るようにしてほしい。
- ・アラムナイのホームページについて、卒業生が簡単に利用できるような仕組みの検討をしていただきたい。
- ・学部卒業生で、マスターコースで学び直しを希望する者に対し、ネット上でコースを開設するなどし、優秀な人材を集めるのと同時に、お金をうまく集める仕組みも必要かと思ふ。

小長会長から、各学部同窓会は会費を毎年払うような仕組みになっており、それに合わせて毎年会費を払うと負担が重くなるということで、アラムナイは 1 回限りという負担関係にしたというのが発足の経緯であること、たまたま捻出された余剰金で寄付の意

思があれば学都基金へ寄付願いたい旨の発言があった。

次いで高橋事務局長から、アラムナイはネット上から振込できないが、学都基金はネット上から振込できるシステムになっていることの説明があった。また、アラムナイのホームページについて、表現力豊かな内容とし、充実させていきたい旨の発言があった。

以 上